

社会資本総合整備計画

JR船橋駅周辺地区都市再生整備計画

平成22年12月9日

千葉県船橋市

都市再生整備計画(第2回変更)

ふなばしえきしゅうへん
JR船橋駅周辺地区

ちば 千葉県 ふなばし 船橋市

平成22年12月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	ふなばし 船橋市	地区名	ふなばしあましましゆ3へん JR船橋駅周辺地区	面積	47 ha
-------	-----	------	-------------	-----	----------------------------	----	-------

計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地の創出

目標1: 駅へのアクセスを含む都心交通ネットワークの構築 目標2: 歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

JR船橋駅周辺地区は、JR総武線・京成本線・東武野田線の鉄道3線が乗り入れており、JR船橋駅・京成船橋駅・東武船橋駅の3駅の一日平均乗降客数は約46万人を数えるとともに、10路線34系統のバスルートをもつ、県内有数の交通ターミナルとなっている。駅北口においては、2つの市街地再開発事業が施行され、駅前広場の地下には563台を収容する船橋北口駐車場、その上部にはお祭り広場のあるペDESTリアンデッキが整備されている。一方、駅南口においては、再開発事業による施設建築物(FACE)が平成15年3月に完成し、これに先立ち事業着手された京成線連続立体交差事業も、千葉県により実施されているところである。

当該周辺地区における主要な都市施設としては、駅北口に天沼弁天池公園(面積約0.94ha)、中央保健センター、南口には中央公民館、市民文化ホール、中央図書館、勤労市民センターといった公共公益施設が点在し、完成した南口再開発ビルには、ミニ市役所としての機能を持つ「総合窓口」や「市民活動サポートセンター」といった市民生活の利便性向上を図るための施設等が設けられている他、同再開発ビル内にミニコンサートや講演会等幅広く利用可能な「文化創造館」(きららホール)が設けられ、本町通り交差点の再開発ビル(スクエア21)には「市民ギャラリー」、「茶華道センター」が設けられるなど、産業・文化・情報等の都市機能が多様に集積する交流拠点としての整備が図られているところである。

また、駅へのアクセスや地区内外の交通の円滑な処理を図るため、3・3・7号線や3・4・11号線といった都市計画道路や、南北駅前広場(北口:面積約1.14ha、南口:面積約1.17ha)が都市計画決定されている。

なお、船橋駅周辺においては、市民と協働によるまち歩き等を実施しており、市民意向を反映した交通安全対策や道路等のバリアフリー化を推進する事業計画が策定されている。

課題

JR船橋駅周辺地区は、産業・文化・情報等の都市機能が多様に集積する交流拠点としての整備が図られつつあるが、駅へのアクセス道路を含む都心道路ネットワークの整備や歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設等の整備が課題となっており、以上述べた各種事業を効率良く一体的に推進することにより、本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地の創出を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

●平成12年3月、「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」をまちづくりの目標とした『船橋市総合計画』を策定し、当該地区は「産業・文化・情報等の都市機能が多様に集積する交流拠点として、賑わいのある中心地区としての整備を図る。」こととしている。

●平成13年2月、『船橋市都市計画マスタープラン』を策定し、当該地区は「広域的な商業機能などの集積を高め、個性豊かな商業地としての形成を図るとともに、中心市街地の再構築を図り、にぎわいと活気にあふれた船橋の玄関口を目指す。」こととしている。

◎都心道路ネットワークの構築 ……都市計画道路の整備 ◎安全・快適な歩行空間等の整備 ……京成線接続デッキ、歩道の整備等

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	目標年度
				基準年度	目標年度	目標年度
交通渋滞の緩和	混雑度	地区周辺の国・県道等主要幹線道路の混雑度 【指標:3路線の平均混雑度】	都心道路ネットワークの構築により、地区周辺における主要幹線道路(国道14号線、船橋・我孫子線、夏見・小室線)の混雑度を低減させる。	1.82	1.5	平成23年度
3駅定期外乗客数	人/日	3駅(JR船橋駅、京成船橋駅、東武船橋駅)の定期外乗客数(≒来街者数) 【指標:3駅の合計値】	安全・快適な歩行空間等の整備や文化・芸術関連の拠点整備等により、来街者を増加させ、にぎわいと活気にあふれた中心市街地を創出する。	80,833	84,000	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1 ・駅へアクセスする都市計画道路や駅周辺を南北に縦断する都市計画道路を整備することにより、都心道路ネットワークを構築し主要幹線道路の交通渋滞の緩和を図る。</p>	<p>・《基幹事業 街路》3・3・7号線他1線整備事業、3・4・11号線整備事業</p> <p>・《関連事業》京成本線連続立体交差事業、3・3・7号線整備事業、3・4・11号線整備事業、3・4・13号線整備事業、3・4・18号線整備事業</p>
<p>・整備方針2 ・駅への接続デッキや駅へアクセスする歩道を整備することにより、歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高める。</p>	<p>・《基幹事業 高次都市施設》京成線接続デッキ設置事業</p> <p>・《基幹事業 街路》3・3・7号線他1線整備事業、3・4・11号線整備事業</p> <p>・《関連事業》あんしん歩行エリア形成事業、交通バリアフリー道路特定事業、3・3・7号線整備事業、3・4・11号線整備事業、3・4・13号線整備事業、3・4・18号線整備事業</p>
<p>その他</p>	

JR船橋駅周辺地区(千葉県船橋市) 整備方針概要図

目標	本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地の創出	代表的な指標	交通渋滞の緩和(混雑度)	1.82	(H17年度) → 1.5	(H23年度)
			3駅定期外乗客数(人/日)	80,833	(H16年度) → 84,000	(H23年度)

